

No.	目	科	種名	学名	平成30年度時点の情報				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	我が国の国内移動、島嶼移動	その他情報			沖縄県における区分			
					移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】									島名	定着状況	我が国の国内移動、島嶼移動		特定外来生物	世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山・尖閣諸島												
18			アメリカミンク(ミンク)	<i>Neovison vison</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。						●			予防種	
19		イヌ	ノイヌ(イヌの野生化したもの)	<i>Canis lupus</i>	○	○		○	沖縄島、座間味島、久米島、南大東島、北大東島、石垣島、西表島	放棄されたペット、放置された猟犬がノイヌの供給源	3), 6), 10), 11), 23)	○							重点対策種	
20		ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×							予防種	
21	ウシ	ウシ	ニホンイノシシ(イノブタを含む)	<i>Sus scrofa leucomystax</i>	○		○	○	沖縄島、渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、慶留間島、外地島、久場島、西表島、内離島、外離島、石垣島、宮古島	狩猟目的の移入、飼育個体の野生化 沖縄島と西表島ではリュウキュウイノシシとの交雑個体が確認されている。外地島では罾により捕獲され、現在は生息していないといわれている。 有害鳥獣として捕獲されている。	10), 15), 7), 8), 9), 6), 2), 22), 25), 26)	○	重点対策外来種	国内移動		●	●		重点対策種	
22			ノヤギ	<i>Capra hircus</i>	○			○	伊平屋島、屋那覇島、粟国島、渡嘉敷島、座間味島、慶留間島、安慶名敷島、粟国島、西表島、鳩間島、魚釣島	琉球列島では、15世紀に導入されて飼育されるようになった。	10), 15), 3), 6), 2), 18)	○	緊急対策外来種			●	●		重点対策種	
23			ウシ	<i>Bos taurus</i>					西表島、内離島、外離島、安室島	小倉(2001)は現在も生息の可能性大としているが、その他の報告はなく、詳細は不明。	22)	△							区分外	
24		シカ	アキシスジカ(アキシスジカ)属	<i>Axis spp.</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×				●			予防種	
25			ケラマジカ	<i>Cervus nippon keramae</i>	○				屋嘉比島、阿嘉島、慶留間島、外地島、渡嘉敷島、座間味島、久場島	本亜種は、17世紀前半に人為的に移入された個体群に由来し、島嶼への適応で小型化したと考えられている。 阿嘉島、慶留間島、外地島、屋嘉比島以外では昭和初期までに駆除。	2), 4), 10)	○		国内移動					区分外	
26			シカ属(ケラマジカを除く)	<i>Cervus spp.</i>				(○)	西表島、由布島	1987年に西表島、由布島でタイワンジカ(ハナジカ)が確認されている。	4), 22)	△	重点対策外来種			●			予防種(シカ属(ケラマジカを除く)として)	
27			ダマシカ属	<i>Dama spp.</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×				●			予防種	
28			シフゾウ	<i>Elaphulus davidlanus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×				●			予防種	
29			キョン	<i>Muntiacus reevesi</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×				●			予防種	
30			シカ(種不明)		(○)				沖縄島	1994年と1998年に確認。種不明。	22)	△							区分外	
31	ネズミ	リス	クリハラリス(タイワンリス)	<i>Callosiurus erythraecus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×				●			予防種	
32			フィンレイソリス	<i>Callosiurus finlaysonii</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×				●			予防種	
33			タイリクモモンガ	<i>Pteromys volans</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×				●			予防種	
34			トウブハイロリス	<i>Sciurus carolinensis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×				●	●		予防種	
35			キタリス	<i>Sciurus vulgaris</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×				●			予防種	
36			シマリリス	<i>Tamias sibiricus</i>	(○)				沖縄島	1965年の標本	19)	△	重点対策外来種						予防種	
37		ネズミ	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>	○		○	○	県内全域	交易などに伴う非意図的移入であり、侵入年代は不明。 県内全域に分布していると考えられる。	10), 3), 4), 19)	○	重点対策外来種			●			対策種	
38			マスクラット	<i>Ondatra ziberhicus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×				●			予防種	

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	在来種の国内移動、島嶼間移動	その他情報				沖縄県における区分
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山・尖閣諸島						島名	特定外来生物	世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種	
39			クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>	○	○	○	○	伊平屋島、伊是名島、伊江島、瀬底島、沖繩島、久高島、渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、粟国島、慶留間島、久米島、屋我地島、渡名喜島、久場島、南大東島、北大東島、南大東島、池間島、宮古島、来間島、伊良部島、下地島、多良間島、水納島、石垣島、西表島、竹富島、小浜島、鳩間島、与那国島、仲ノ神島、波照間島、魚釣島 等	交易などに伴う非意図的移入であり、侵入年代は不明。県内全域に分布していると考えられる。	10), 15), 3), 4), 6), 14), 2), 1), 19), 17), 18), 11), 20), 21), 22)	○	緊急対策外来種			●		対策種
40			ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>	○		○	○	伊平屋島、伊是名島、沖繩島、久高島、渡嘉敷島、阿嘉島、屋嘉比島、座間味島、久米島、宮古島、伊良部島、多良間島、石垣島、西表島、与那国島、波照間島 等	交易などに伴う非意図的移入であり、侵入年代は不明。県内全域に分布していると考えられる。	10), 15), 3), 4), 14), 2), 19), 20), 22)	○	重点対策外来種					対策種
41			ナンヨウネズミ	<i>Rattus exulans</i>			(○)		宮古島	1955年の標本を元に2001年に本種と同定された。	10)	△						区分外
42			ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	緊急対策外来種		●	●	●	予防種
43		テンジクネズミ	オニテンジクネズミ	<i>Hydrochaeris hydrochaeris</i>				○	石垣島、由布島、西表島	カピバラの名で知られている。由布島と西表島では1988年に確認(4, 22)され、近年の情報はない。石垣島では2013年に発見されたとされ(5)、現在の生息状況は不明。繁殖は未確認。	4), 5), 22)	△						区分外
44			マーラ属の一種	<i>Dolichotis sp.</i>				(○)	由布島、西表島	1980年代後半に確認されているが、現在は生息していないと考えられる。	22)	△						区分外
45	ウサギ	ウサギ	カイウサギ(アナウサギ)	<i>Oryctolagus cuniculus</i>	○		(○)	○	沖繩島、安田ヶ島、屋那覇島、嘉弥真島、伊良部島	伊良部島では過去に目撃情報があった。浮離島(1989)の記録があるが場所不明(文献22)	10), 15), 4), 12), 22), 6)	○	重点対策外来種		●	●		対策種

主な参考文献

- 1) 池原貞雄・下謝名松栄(1971). 尖閣列島の陸生動物. 尖閣列島学術調査報告 琉球大学, 85-114
- 2) 岩尾研二(2014). 慶良間列島の外来動物. みどりいし, 26: 24-34
- 3) 沖縄県(2005). 沖縄県の在来の生物に対して悪影響を及ぼす要因. レッドデータおきなわ【動物編】付属資料.
- 4) 沖縄県立博物館(1996). 沖縄の帰化動物.
- 5) 石垣でカピバラが野生化かー2カ所目撃、複数移動か疑問: 新聞報道(石垣経済新聞 2014年4月11日)
- 6) 環境省(2012). 行政資料. 奄美・琉球の島別外来種の分布情報を集めています, 現在の分布情報の現状(平成25年9月現在).
- 7) 環境省那覇自然環境事務所(2012). 沖縄諸島の外来種.
- 8) 環境省那覇自然環境事務所(2012). 宮古諸島の外来種.
- 9) 環境省那覇自然環境事務所(2012). 八重山諸島の外来種.
- 10) 国立研究開発法人 国立環境研究所. 侵入生物データベース
- 11) 佐藤文保(2005). 久米島に侵入した自然界のエイリアン(移入種)の記録. 久米島自然文化センター紀要, 5: 27-35
- 12) 田中聡・嵩原建二(2003). 先島諸島における野生化したインドクジャクの分布と現状について. 沖縄県立博物館紀要, 29: 19-24
- 13) 中西希・中本敦・広瀬裕一(2014). 沖縄の自然は大丈夫?ー生物の多様性と保全. 沖縄タイムス社
- 14) 西村謙一(1999). 広東住血線虫症, 日本における衛生虫学の研究7 IV線虫類.
- 15) 日本生態学会編(2002). 外来種ハンドブック.
- 16) (社)日本動物園水族館協会 自然保護部(2000). 野生生物保全に関する実態調査Ⅱ報告ー地域の野生生物保全について. 別表5.
- 17) Matsui S, Hisaka M & Takagi M (2010). Arboreal nesting and utilization of open-cup bird nests by introduced ship rats *Rattus rattus* on an oceanic island. *Bird Conserv Int*, 20: 34-42
- 18) 山崎仁也・松村雅史・吉田和久・カ身恭二・目黒賢児(2015). 鳩間島・新城(上地)島・黒島の動物相(FAUNA)ー昆虫相を中心に. 鳩間島・新城島・黒島 総合調査報告書. 沖縄県立博物館・美術館
- 19) 琉球大学資料館(風樹館)(2011). 琉球大学資料館(風樹館)哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類標本目録. 琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録 第5号
- 20) 池原貞雄・坂口法明・村田行(1991). 南西諸島の哺乳類とその保護について. 平成二年度南西諸島における野生動物の種の保存に不可欠な諸条件に関する研究報告書: 187-205
- 21) 本事業の調査による初記録
- 22) 小倉剛(2001). 沖縄島に移入されたマンガースの管理に関する基礎的研究: とくに種の同定, 被害状況, 成長, 繁殖, 駆除方法について
- 23) 沖縄県環境部自然保護・緑化推進課(2015) 平成26年度沖縄県地域人づくり事業(マンガース等外来種捕獲技術者及び探索犬ハンドラー育成事業)報告書.
- 24) 新垣裕治・田代豊(2010). 名護市内におけるジャワマンガース(*Herpestes javanicus*)のアンケート調査及び捕獲調査による分布に関する研究. 名桜大学総合研究(17): 33-42
- 25) みどり推進課らイノシシー頭を駆除 砂川でキビ食害. 宮古新報ニュースコム2014.09.04 <http://miyakoshinpo.com/news.cgi?no=11016&continue=on> (2016.11.02アクセス)
- 26) 高橋春成(2015). 南西諸島の海を泳ぐイノシシ. 総合研究所所報. 23: 1-12